

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	利用者と共に町内会の秋祭りに参加、ホームに町内の獅子舞が来てくれたり、近所の方から服や雑巾の差し入れがある。また、職員が町内会の防災訓練に参加する等、地域との交流に努めている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	行政・地域・家族等の代表が参加して、2ヶ月に1回開催している。ホームの活動状況等の報告を通して意見交換が行われ、地域総代との繋がりも良好となっている。昨年の豪雨禍を教訓として、会議では災害時の対応等が具体的に話し合われている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	2ヶ月に1回、市主催の介護事業者会議のGH部会時には必ず市担当者へ顔を出す等、ホーム情報を伝えながら、交流を深める努力をしている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	職員は利用者の話に常に耳を傾け、来訪の家族との会話にも努めている。家族の来訪も（毎日の方も）多く、最低月1回はどの家族も訪れている。ホームに馴れずに寂しがっている利用者の思いを汲んで、家族に電話して来訪してもらったこともある。アンケートからは良好な関係が窺える。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>運営推進会議メンバーが固定されており、行政関係者は必ず出席しているものの、欠席者が目立つことから少人数での開催となっている。会議メンバーの登録を増やし、幅広い意見の收拾が図れるような体制づくりが望まれる。</p>

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>（例示）</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>（例示）</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>（例示）</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>（例示）</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。